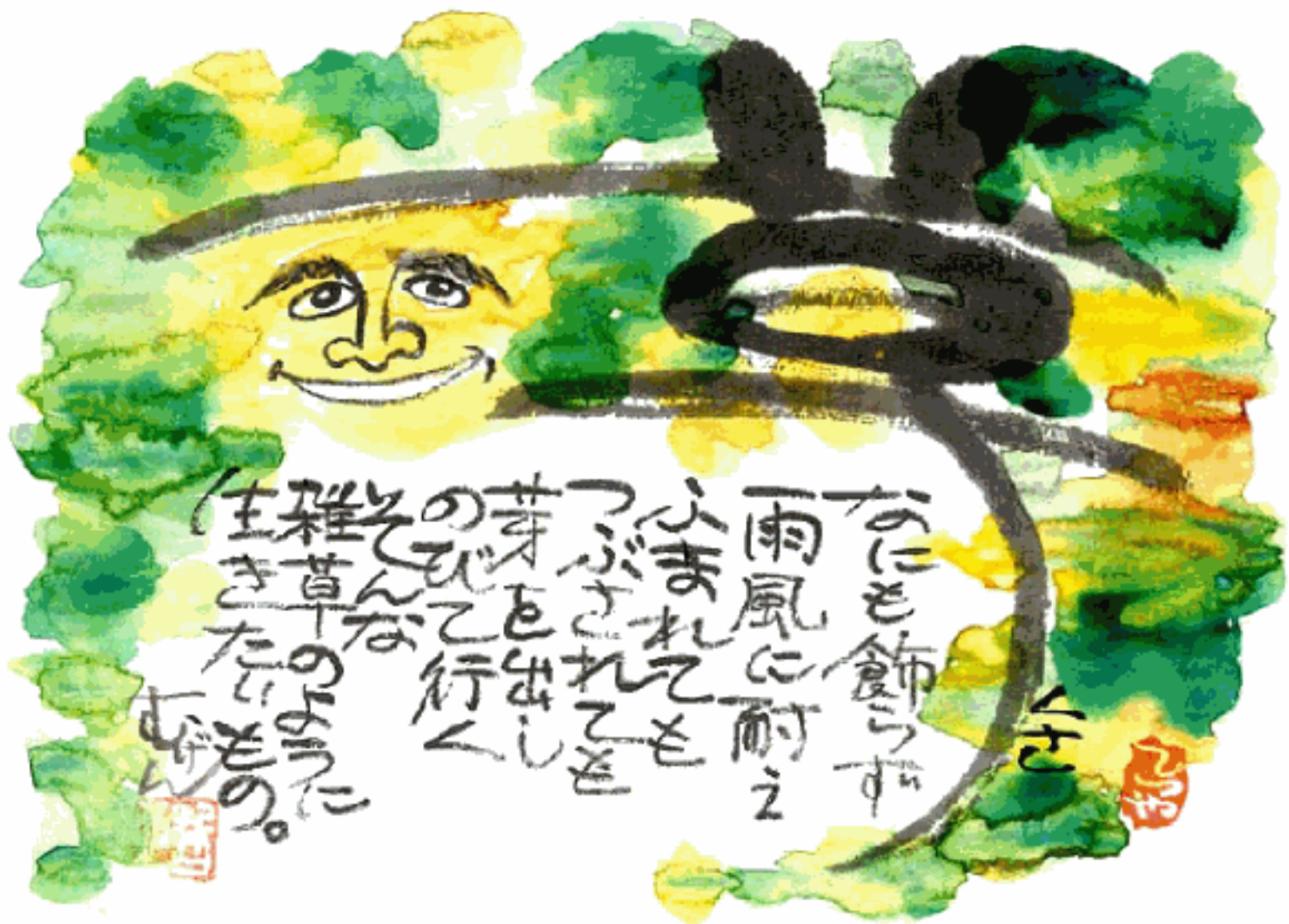


A News Letter of Woody-Akiba

住まいのニューズレター Woody-Akiba

画 むげんてつや 先生



ごあいさつ

いきなりご報告です。6月27日は富里スイカロードレースでした。チーム八日市場RCは6人が参加、今年の参加者はなんと合計11000人を数えています。気温は24度天候曇り。この季節としては絶好のコンディションといえます。10kmの部は40才までの部と40才以上の部に分かれています。さあ、40才以上の部がスタート！約4000人のスタートは選手が数百メートルにも連なり、号砲が鳴っても先が詰まっていたり数分間はスタートラインを越えることができません。そろそろ動き始めますが、しばらくは身動きが取れないほどの混雑ぶりです。スイカのコスチュームを纏った人や仮装した集団が観衆の目を楽しませてくれます。私は前半は快調な走りです、短い足を繰り返して、ひたすら回転数でカバーします。やがて5kmを過ぎたあたりからパテて息が苦しく足が重くなってきました。前方で歩き始めた人を見れば、自分も少し休もうか…と思ひ、スピードをあげて追い抜いていく人を見ると自分にはそんな力はない…と思う。弱気になり前半の貯金を使い果たし、自分のペースを失いかけたときに、民家の人々がホースを伸ばして頭上からシャワーをかけてくれます。本当にありがたく、生き返った心地がしました。そのシャワーを浴びるたびに力をもらいました。沿道から「次は甘いスイカが待ってるよー」の声に力を得て、とうとう9kmの給スイカ所へ到着、スイカをほおぼりました。そして気分を新たに心臓破りの坂を越え、残り1kmを全力で走りました。

沿道からの声援やシャワーのサービス、給水所のスタッフ、各所に配置された救急スタッフの皆さんに本当に感謝したい気持ちです。この市をあげて選手をもてなす姿勢こそがスイカロードレースの魅力に違いありません。また、来年も参加したくなってしまいます。それがこの集客数に繋がっているのでしょうか。さらには9km地点でスイカを食べた人はスイカが大好きになってしまうというこの富里の洗脳作戦は恐るべしです。

マラソンはよく人生にたとえられますね。必ずやってくるであろう難局をいかに克服するか、いかに乗り越えるのか…という同じテーマをもっているからではないでしょうか。また、どちらも結局は自分との戦いだからではないでしょうか。今回のレースをとりあえず自分なりに納得のできるタイムで走りきったことで、充実感とちょっとだけ明日を切り開く勇気を得たような気がします。めざす目標はいつも人生の自己ベスト！挑戦する気持ちを持たなければ、感動のゴールへは永遠に辿りつけないのだ！もし、肥満度別レースがあったなら優勝も夢ではないぞ！そんなバカなことを考えながら、帰途につきました。チームの6人はそれぞれの日常生活の場へと帰っていきました。



ウダツがあがった家



こちらは飛ヶ谷棟梁が担当する現場風景。(本人は事情で静養中) 自社設計によるウダツのある家、多部田様の御宅です。弊社にとって最年少の大工、飛ヶ谷の成長が楽しみ。彼は当社きってのイケメン大工です。行方大工の応援もあって順調に現場は進行しています。



<写真>真剣な表情で材をチェックする飛ヶ谷2代目

梅雨の湿気対策

<カビを見つけたらすぐ対策を！>

湿気対策は、まず換気がポイントです。建物内の空気をこまめに入れ替えることが、効果的です。窓やドア、ガラリ(通気用の小窓)を開けて換気することを「自然換気」といいます。できれば2ヵ所以上の窓やドア、通風口で換気できるようにしましょう。開ける面積が大きく、回数が多いほど換気は効果的です。冷暖房の効果が減るのでは？と心配かもしれませんが、短時間ならば室温にはあまり影響はありません。また、タンスなど家具は壁に密着させずに空気の流れる隙間を作っておくことも重要です。



願ってもない敷地に家を建てる



地鎮祭風景



成田市のある住宅団地での地鎮祭風景です。前列は小林様ご家族。後列は右から伊藤先生、そしてあの！泉幸甫先生です。次号からこの工事の様子をお伝えしていきたいと思ひます。泉先生といえば、自然素材、とりわけ木・紙・土をつかった建築で有名な方です。また施工のご指名をいただいたことに、本当に感謝したいと思ひます。泉先生の設計による仕事は3回目となります。今回も勉強させていただきたいと思ひます。泉先生については、インターネット検索サイトで「家づくりの会」を検索してみてください。また、弊社ホームページもご覧いただければ幸いです。



川島様のお宅は四方とも小高い丘に囲まれています。その真ん中にある住まいを取り壊して、新築工事を始めました。どの方向をみてもお隣りは見えません。緑の丘と杉の木が立っているのみです。なんと恵まれた環境なんでしょう。たとえるなら、大きな目玉焼きの黄身を南側から削り取ったような感じなんです。城を建てるにふさわしい最高の立地ではないでしょうか。<写真は東側丘の上から敷地を撮影したもの><上の写真>けやきの大黒柱と恵比寿大黒を用意しました。大工刻み作業も進行中！がんばれ依知川棟梁！上棟まであとわずかなのだ！



山崎様邸新築工事進行中！

いよいよ、木工事は終盤にさしかかってきました。これからの工程は左官が中心になります。見学ご希望の方は、どうぞご連絡ください。写真は玄関上の吹き抜けの様子です。高野先生、高松研究員の指導のもと順調に進行しています。

発行者 ご連絡先 秋葉建設(株) 秋葉 忠夫

〒289-2163八日市場市南神崎52-1

電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824

携帯080-5545-0814(留守電でもOKです。)

★★携帯番号が変わりました。変更をお願いします★★

Eメール master@woody-akiba.com

HP URL <http://woody-akiba.com/>

★★ドメインを取得しました。上記がそれです★★

次号も「読んであげてもいいよ」と思っただ方、是非ご連絡をお待ちしています。ご住所・お名前・Eメールアドレスを教えてください。ご連絡をお待ちしていますよー。

(財)住宅産業研修財団・優良工務店の会QBC会員。財団では職人の技能を伝えるため、「大工塾」を創設しました。